

## 職員による自己評価

**A 環境面**

・エレベーターがなく教室内で一部バリアフリー化されていない箇所がある。

**B 業務内容**

・日誌やミーティングを使用して職員間で業務内容を周知している。  
・学習プランを個々で作成し、可視化している。

**C 児童への支援内容**

・個々の特性やお子様同士の相性を考慮した活動を提案・実施しているが、お子様によっては活動に偏りが出る場合がある。

**D 関係機関との連携**

・学習内容や生活面、進路について学校や他事業所と電話やメール、会議を行い情報共有している。  
・放課後等デイサービス事業所連絡会に所属し、連携を図っている。

**E 保護者への説明責任・信頼関係**

・お子様の記録を関係者のみ閲覧可能な方法で開示している。  
・保護者の方からご相談があったときに電話やメール、面談で一緒に解決策を考えている。

**F 非常対応**

・マニュアルを作成し掲示しており非常事態時の研修を実施している。  
・避難訓練を実施している。  
・地域の交番と連携をとっている。

## 保護者による評価

**A環境面**

・人数が増えてごちゃごちゃしているイメージがある。

・4階だがエレベーターがなく心配な面がある。

**B 児童への支援内容**

・時々解答が間違っている時がある。  
・活動が固定されていないと感じている意見が多いが、今後の改善に期待する意見も見受けられる。

**C 事業所からの情報発信**

・人によって聞いても回答がない  
・お子様が低学年の間に相談できる父母会があるといい。  
・面談の時にしか話せない。

**D 非常対応**

・避難訓練がされている。  
・各種マニュアルについても前年度よりもご理解されている意見が多く、浸透している。

**E 満足度**

・家庭との共通理解ができていて助かっている  
・通所を楽しみにしてくれているお子様が多く、支援に関する総合的な満足感を感じてもらえている。

## 事業所内での分析

**【共通点】**

・教室で一部バリアフリー化されていない箇所がある。4階に教室があるが、エレベーターがなく不安。  
・場面に合わせたマニュアルを作成し、ご家族にも理解を得られている。  
・お子さんによっては活動に偏りがみられる。

**【相違点】**

・スペースや人員は法令遵守できているが日によって、活動によっては教室内が手狭な印象を受ける。  
・あいさつや面談の不足などご家族と職員間でのコミュニケーション満足度に相違があった。  
・ご家族からのご意見があったときに迅速・適切な対応ができていなかった。

分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・活動報告を利用日に行い、お子様の様子をご家族と共有できている。
- ・一人遊びだけでなく、さまざまな年代の他者との関わりが期待できる遊びの場の提供ができている。
- ・学習面のフォローを積極的に行い、お子さんの自信につなげている。
- ・さまざまな場面に合わせた対応マニュアルを作成し、必要に応じて研修を行っている。
- ・駅から近く、公共交通機関を使ってお子さん一人で登校が可能のため、自立支援の一端を担えている。

### 事業所の改善点

- ・人数を超過してはいないが、日や時間帯によっては教室が狭く感じる場面がある。そのため、お子様の活動や特性に合わせた環境づくりが必要である。
- ・ご家族から教室への相談しやすい環境づくりが十分でなく、必要な時に適切な情報提供ができていなかった。
- ・職員によって知識量の差異があり、今後一層の研修や職員間での情報共有が必要である。

### 事業所の改善への取り組み

- ・現在行っている研修以外にも障害特性や福祉、学習方法についての研修に参加し、知識を深める。また、得た知識を全職員で共有していく。
- ・ご家族が気軽に相談しやすい雰囲気を作る。また、職員から積極的にコミュニケーションをとるとともに、ご家族から気軽にコミュニケーションをとれる LINE やメール、電話などの手段をお伝えしていく。
- ・お子様同士の席や活動スペースの距離を個々の特性に合わせて配慮し、過ごしやすと感じる環境設定を行う。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

この度もアンケートでたくさんのご意見・ご感想をいただくことができ大変うれしく思います。皆様からの温かいお言葉やご意見が私たちの励みとなります。誠にありがとうございました。新しいご利用者様も増え、お子様同士の新たな関係ができ始めておりますが、至らない点も多くまだまだ改善できる点があることがわかりました。すべてのご利用者様が通いやすい、安心できると感じてもらえるような教室運営をしていきたいと思っております。

事業所名 オレンジスクール藤沢教室

担当者 佐藤舞子

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和2年3月31日 事業所名：オレンジスクール藤沢教室  
 保護者数（児童数）：（38） 回収数：22 割合：58%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	4	0	人数が増えてごちゃごちゃしているイメージ	お子さんの特性を配慮して安全を確保した活動スペースを設けていきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	4	1	・時々解答が間違っていることがあり、少々気になる ・あいさつをしない人がいた ・人によって聞いても回答がない	・事前に学習内容を把握し、確実な解答ができるよう個々の職員の実力を上げていきます。また、様々な研修を実施し、職員の知識を向上させご相談に適切に答えられるよう努めます。 ・気持ちのいい関わりができるようあいさつの徹底をしていきます。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	11	6	・ビル4階、スロープ、エレベーターなし ・部屋の造りがよくわからず答えられない ・仕方のないことだがエレベーターがない	教室内での設備は安全面を配慮したものを取り入れられるよう検討してまいります。
適切な支援提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	21	0	1		
	⑤ 活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	17	3	2		
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要7	5	不必要10		
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	3	1		
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	19	0	2	・かなり助かっています	ご理解ご協力ありがとうございます。今後ご家庭とお子様のご様子を共有させていただきます。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	1	2	・面談の時にしか話せない	定期的な面談時だけでなく、送迎時にもご様子を伺わせていただきます。また、ご要望があればいつでもご面談をさせていただきます。LINEやメール、お電話でのお問い合わせも随時受け付けております。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要5	5	不必要10	・低学年の時は相談しあえる父母会などがあるといいと思う ・時と場合による	多数のご意見がありましたら、開催の仕方をヒアリングし、開催の検討をいたします。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	6	0		
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	1	1		
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	2	0		
⑭ 個人情報に十分注意しているか	19	2	0			
非常時等	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	3	0		

の 対 応  満 足 度	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	2	0		
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	21	1	0		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	20	2	0		

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和2年3月31日 事業所名：オレンジスクール藤沢教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員を超えないようにご案内しています。	法令遵守しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員シフト作成時に確認しています。	法令遵守しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		事業所内は基本的に平面移動が可能です。	教室内一部バリアフリー化がされておらず段差があります。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日誌や研修、職員間でのミーティング、児童記録を通して業務内容を周知しています。	全職員へ業務内容を細かに周知できるよう、ミーティングや話し合いの場を継続して設ける。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の皆様にもアンケートにご協力いただき、さらなる業務内容の改善に取り組んでまいります。	今後も定期的に保護者の皆様にもアンケートにご協力いただき、業務内の改善に努めてまいります。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			オレンジスクール藤沢教室のHPに公開しております。	今後もオレンジスクール藤沢教室のHPに公開していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は事業所・保護者の二者評価です。	今後も継続していきます。
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修では障害特性や虐待、防災、意思決定支援、個人情報など業務に関する研修を行っております。また、外部の障害に関する研修にも積極的に参加しております。	今後も定期的な研修機会を設け、指導員の知識向上を目指します。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ご利用者様のご様子を本人、ご家族、指導員からヒアリングして日々の支援に活かし、個別支援計画の作成を行っております。	ご家族やお子さまが相談しやすい環境を作り、よりニーズに合った個別支援計画の作成に励んでまいります。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートは事業所内で統一されたものを使用しています。	アセスメントシートは事業所内で統一されたものを使用します。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員全員でご利用者様ごとに適切な学習内容や活動を話し合い実践しています。また、活動が合わない場合は再度話し合いをして活動を見直しております。	職員全員で活動の立案をしていきます。また、ご利用者様やご家族のニーズをヒアリングし、活動へ反映させていきます。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか		○		新しい活動を職員から紹介する機会を設けています。また、ご利用者様のニーズを都度聞き取りし活動選択に活かしています。	活動が特定のものになってしまわないように興味を引きそうな活動をご紹介します。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別支援計画をもとに個々に応じた活動内容を設定しています。また、ご利用者様へのヒアリングを行い活動へ反映させています。	個別支援計画をもとに個々に講じた活動内容を設定いたします。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の課題に応じて集団での活動へ促しをしています。また、集団活動が苦手なご利用者様には個別の活動も用意しています。	ご利用者様やご家族のニーズに合わせた個別・集団活動を設定していきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			ご利用時間前に職員間で役割分担を確認し、ご利用者様ごとの注意事項や業務内容の確認を行っております。	ご利用時間前に職員間で役割分担を確認し、ご利用者様ごとの注意事項や業務内容の確認を行っていきます。

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ご利用終了後に職員間で共有しています。また、当日勤務がなかった職員にも日誌やミーティングで周知しています。	ご利用終了後に職員間で共有していきます。また、当日勤務がなかった職員にも日誌やミーティングで周知していきます。	
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回ご利用者様ごとに活動記録をつけており、次回以降の活動の改善へ活かしている。	毎回ご利用者様ごとに活動記録をつけており、次回以降の活動の改善へつなげていく。また、職員の意見だけでなく、ご家族やご利用者様のニーズも反映させていく。	
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度を目安にご家族と面談を実施しております。	半年に一度を目安にご家族と面談を実施していきます。状況に応じて面談の回数を増やしていきます。	
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			個別支援計画をもとに個々に応じた活動内容を設定しています。	個別支援計画をもとに個々に応じた活動内容を設定していきます。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者、支援を担当する指導員が参画しております。	児童発達管理責任者、支援を担当する指導員が参画していきます。	
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			ご利用者様やご家族のニーズに合わせて学校関係者と面談やお話をしています。ご家族を通じて学校の情報を共有しております。	個々のニーズに合わせて学校やご家族と共有させていただきます。	
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			医療スタッフを配置していないためご利用の際は主治医・ご家族とご相談させていただきます。	医療スタッフを配置していないためご利用の際は主治医・ご家族とご相談させていただきます。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				必要に応じて連携を行い、情報共有をしております。	必要に応じて連携を行い、情報共有をいたします。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		ご利用者様の中にはまだおりません。	状況に応じて支援内容等の情報を提供していきます。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				研修会に参加し、支援に役立てています。	研修会に参加し、支援に役立てています。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		現在は実施できていない状況です。	教室のご利用時間の都合上、他事業所や他機関との交流は難しい状況です。多くのご要望がございましたら、教室の環境を鑑みて実施の検討を行ってまいります。
	㉑	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○				藤沢市の放課後支援事業者連絡会に参加し、他事業所と連携をとっております。	今後も放課後支援事業者連絡会に参加していきます。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				ご利用後に当日の活動の様子をご家族と共有させていただいております。また、ご要望やご相談についてもLINEやメールにて随時受け付けております。	LINEやメールだけでなく、送迎時に直接ご要望やご相談についてお話を伺っていきます。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		ご相談いただいたお困りごとなどに関して個々にお話をさせていただいております。	お困りごとに対してペアレント・トレーニングを始め、よい支援方法をお伝えできるよう指導員の知識向上に努めます。
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご契約の際にご説明させていただいております。また教室にも掲示がございます。	ご契約の際に丁寧に説明させていただき、また教室の掲示も継続します。	

保護者への説明責任等	⑳	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			個々のご相談に応じて支援を行い、助言をさせていただいております。	職員の知識を増やし、より相談事に合った助言が適切にできるよう励んでまいります。また、相談しやすい環境を作ってまいります。
	㉑	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在は行っていません。	現在は実施に至っておりません。今後多数のご要望があった場合は検討してまいります。
	㉒	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			○	苦情があった場合は社内のフローに則り迅速かつ適切に対処しております。	苦情があった場合は社内のフローに則り迅速かつ適切に対処いたします。
	㉓	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月のおたよりやHP上でのブログにて発信させていただいております。	毎月のおたよりやHP上でのブログにて発信させていただきます。
	㉔	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に関する書類は鍵付き書庫にて管理しております。また、教室内のPCにはパスワードを設定しております。個人情報に関する研修を行い、職員の意識向上を図っております。	個人情報に関する書類は鍵付き書庫にて管理していきます。また、教室内のPCにはパスワードを設定していきます。個人情報に関する研修を行い、職員の意識向上を図ります。
	㉕	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			ご利用者の理解しやすいような提示方法（口頭、文書、イラスト、実物など）でお伝えするように努めています。ご家族へは書面での伝達に加え、場合によっては口頭での説明をしております。	ご利用者の特性に合わせた伝達手段を用います。ご家族へは書面化を心掛け、必要に応じて口頭で説明させていただきます。
	㉖	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在は行っていません。	オレンジスクール藤沢教室では実施に至っておりません。今後必要に応じて検討していきます。
非常時等の対応	㉗	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			事業所内でそれぞれのマニュアルを策定し職員間で共有しています。	事業所内でそれぞれのマニュアルを策定し職員間で共有していますので、今後より一層ご家族にも周知できるように掲示場所を工夫していきたいと思っております。
	㉘	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回長期休暇中に行っております。	年に2回長期休暇中に行います。
	㉙	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内でマニュアルを策定し定期的に研修を行います。	事業所内でマニュアルをもとに定期的に研修を行います。
	㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			事業所内で対応を決めさせていただき、ご契約・ご面談時に説明後確認を行っております。	事業所内で対応を決めさせていただき、ご契約・ご面談時に説明後確認を行ってまいります。
	㉛	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事・おやつ等の提供は行っていません。	食事・おやつ等の提供は行っていません。
	㉜	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			教室内で発生したヒヤリハットは報告書を作成し、事業所内で共有しております。また、日誌を活用し、日々の細かなヒヤリハットを記録・共有しています。	教室内で発生したヒヤリハットは報告書を作成し、事業所内で共有していきます。また、日誌を活用し、日々の細かなヒヤリハットを記録・共有していきます。

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。